



Simply Better Connections

## CS1942DP / CS1944DP

2/4ポート USB3.0ハブ搭載 4K対応  
デュアルDisplayPort KVMPスイッチ  
ユーザーマニュアル

### 本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取り扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATENジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

## 適合性に関する宣言

### 連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

この機器は、FCC規則のパート15に準拠したクラスB デジタルサービスの制限に準拠していることが、テストによって確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉から適切に保護するために設計されています。この機器に変更・改造を加えると、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。この機器は、高周波エネルギーを生成・使用・放射する可能性があります。指示に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉が発生するおそれがあります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源再起動で判断可能）、次の1つ以上の手段で干渉を修正してください。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 製品本体と受信アンテナの距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに、機器を接続する。
- ◆ 販売店またはラジオ・テレビ技術者に問い合わせる。

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

**FCCによる注意:** 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。



### カナダ産業省による宣言

クラスBの本デジタル機器は、カナダのICES-003に準拠しています。

**CAN ICES-003 (B) / NMB-003 (B)**

## **RoHS**

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

## ユーザー情報

---

### オンライン登録

ご購入の製品は、弊社のオンラインサポートセンターにご登録ください。

---

インターナショナル	<a href="http://eservice.aten.com">http://eservice.aten.com</a>
-----------	---

---

### 電話によるサポート

電話によるサポートは、次の番号にご連絡ください。

---

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

---

### ユーザーの皆様へ

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造元は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者(メーカー、代理店、または販売店を除く)が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造元は、この装置に対して許可されていない変更に起因する無線やTVへの干渉には責任を負いません。このような干渉の訂正は、ユーザーの責任です。

動作前に正しい電圧設定を選択していない場合、製造元はこのシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

## 製品情報

---

ATEN製品に関する情報や、製品に制限なく接続できる方法については、弊社ウェブサイトアクセスするか、またはATEN販売代理店にお問い合わせください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトアクセスして、ご確認ください。

---

インターナショナル	<a href="http://www.aten.com">http://www.aten.com</a>
-----------	---

---

## 同梱品

---

すべてのアイテムが正常に動作しているか確認してください。問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

製品パッケージには、下記のアイテムが同梱されています。

### CS1942DP

- ◆ 2ポート USB 3.0 4K DisplayPort デュアルディスプレイ KVMP™スイッチ × 1
- ◆ DisplayPort 1.2 ケーブル\* (認定済み) × 4
- ◆ USB 3.0ケーブル × 2
- ◆ オーディオケーブル × 4
- ◆ 電源アダプター × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

### CS1944DP

- ◆ 4ポート USB 3.0 4K DisplayPort デュアルディスプレイ KVMP™スイッチ × 1
- ◆ DisplayPort 1.2 ケーブル\* (認定済み) × 8
- ◆ USB 3.0ケーブル × 4
- ◆ オーディオケーブル × 8
- ◆ 電源アダプター × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

---

#### 注意:

\* 4K解像度の出力には、高品質なDisplayPortケーブルが必要です。

---

# 目次

---

適合性に関する宣言.....	i
ユーザー情報.....	iii
オンライン登録.....	iii
電話によるサポート.....	iii
ユーザーの皆様へ.....	iii
製品情報.....	iv
同梱品.....	v
CS1942DP.....	v
CS1944DP.....	v
目次.....	vi
本マニュアルについて.....	ix
マニュアル表記について.....	x
第1章 はじめに.....	1
概要.....	1
特長.....	2
システム要件.....	4
コンソール.....	4
コンピューター.....	4
ケーブル.....	4
オペレーティング・システム.....	5
製品各部名称.....	6
CS1942DP フロントパネル.....	6
CS1944DP フロントパネル.....	6
CS1942DP リアパネル.....	8
CS1944DP リアパネル.....	8
第2章 ハードウェアのセットアップ.....	10
ケーブルの接続.....	10
接続図.....	12
クアッドディスプレイ(DCCモード).....	13
接続図(クアッドディスプレイの場合).....	14

<b>第3章 基本操作</b> .....	<b>15</b>
<b>ポートの切り替え</b> .....	<b>15</b>
手動での切り替え .....	15
マウスによる切り替え .....	16
ホットキーによる切り替え .....	16
RS-232コマンド .....	16
<b>ホットプラグ</b> .....	<b>17</b>
<b>電源オフと再起動</b> .....	<b>17</b>
<b>ポートIDの付番</b> .....	<b>17</b>
<b>手動ポート選択の代替設定</b> .....	<b>18</b>
<b>第4章 ホットキーの操作</b> .....	<b>19</b>
<b>ポートの切り替え</b> .....	<b>19</b>
ポートの循環切替 .....	20
ポートのダイレクト切替 .....	21
オートスキャン .....	24
<b>ホットキー設定モード</b> .....	<b>25</b>
HSMの起動 .....	25
HSM起動の代替キー .....	26
ポート切り替えの代替キー .....	26
キーボード操作プラットフォーム .....	27
本体設定の一覧表示 .....	27
USBのリセット .....	28
ビープ音の制御 .....	28
ホットキーによるポート切り替え .....	28
ファームウェアアップグレードモード .....	29
デフォルト設定の復元 .....	29
キーボードエミュレーションの制御 .....	29
マウスエミュレーションの制御 .....	30
マウスによるポート切り替え .....	30
モニターの再検出 .....	30
切替モードの選択 .....	31
HSM一覧表 .....	32
<b>第5章 キーボードエミュレーション</b> .....	<b>34</b>
<b>Macキーボード</b> .....	<b>34</b>
<b>Sunキーボード</b> .....	<b>35</b>
<b>第6章 ファームウェア アップグレードユーティリティ</b> .....	<b>36</b>



事前準備 .....	36
アップグレードの開始 .....	38
アップグレードの成功 .....	41
アップグレードの失敗 .....	42
付録 .....	43
安全にお使いいただくために .....	43
技術サポート .....	45
インターナショナル .....	45
北米 .....	45
仕様 .....	46
トラブルシューティング .....	48
概要 .....	48
ATEN標準保証ポリシー .....	49

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CS1942DP / CS1944DPを最大限に活用できるように、提供されたドキュメントです。本書では、製品の取り付け・設定・操作の各方法について、詳しく説明しています。マニュアルは下記のとおり構成されています。

**第1章 はじめに:**CS1942DP / CS1944DPを紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

**第2章 ハードウェアのセットアップ:**システムのセットアップ方法について図を用いながら説明します。

**第3章 基本操作:**CS1942DP/CS1944DPを操作する上での基本的な考え方について説明します。

**第4章 ホットキーの操作:**CS1942DP/CS1944DPのシステムにおけるホットキー操作に関連するすべての概念と手順の詳細について説明します。

**第5章 キーボードエミュレーション:**PCからMacキーボード、およびPCからSunキーボードへのエミュレーションマッピングを表形式で説明します。

**第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:**CS1942DP/CS1944DPのファームウェアを利用可能な最新バージョンで使用方法について説明します。

**付録:**CS1942DP/CS1944DPに関する仕様やその他の技術情報を記載していません。


---

### 注意:

- ◆ 製品本体や接続機器が破損しないように、必ず、本マニュアルの内容に従ってセットアップや操作を行ってください。
  - ◆ 本書の公開後に、製品に対する機能の追加・改良・削除によって、マニュアルの内容が更新される場合があります。最新のユーザーマニュアルは、<http://www.aten.com/global/en/>でご確認ください。
-

## マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

- [ ]            入力するキーを示します。例えば、[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。
- 1.            番号が付けられている場合は、番号に従って操作してください。
- ◆            ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。
- >            矢印は操作の手順を示します。例えば、「スタート」>「実行」は「スタート」メニューを開き、「実行」を選択する操作です。
-             重要な情報です。

# 第1章

## はじめに

### 概要

---

CS1942DP / CS1944DPは、デュアルディスプレイ対応のKVMスイッチに、DisplayPortビデオ、USB 3.1 Gen 1ハブ(2ポート)、2.1chサラウンドオーディオを統合した高機能モデルです。DisplayPortは、4K UHD@60Hzおよび4K DCI@60Hzの高解像度映像に対応し、音楽や映画、ゲームに最適な高音質と映像美を提供します。

CS1942DP / CS1944DPを使えば、1組のコンソール(USBキーボード・マウス、DisplayPortモニター2台)から、2台または4台のDisplayPort対応PCにアクセス可能です。フロントボタン、ホットキー、マウスでポート切り替えができ、便利なホットキーも用意されています。さらに、電源検出機能により、接続PCの電源がオフになると、自動で電源オンの別ポートへ切り替わります。

CS1942DP / CS1944DPはUSB 3.1 Gen 1ハブを搭載し、最大5Gbpsの高速データ転送に対応しています。汎用USBポートとKVMの切り替えは独立して行えるため、USB機器を接続したまま、別のPCでKVM操作が可能です。これにより、USBハブやプリントサーバーやデバイス共有器などの追加機器は不要になります。

CS1942DP / CS1944DPは、4K対応、高速USB 3.1 Gen 1ハブ、直感的な操作性を備えた、先進的なデスクトップKVMスイッチです。

## 特長

---

- ◆ 2/4ポート DisplayPort デュアルディスプレイ KVM スイッチ - USB 3.1 Gen 1 ハブおよび2.1サラウンドオーディオ対応
- ◆ 1カ所のコンソール(USBキーボード・マウス、DisplayPortモニター2台)から、2/4台のコンピューターとUSB周辺機器2台を操作可能
- ◆ 切替方法 - フロントパネルのボタン、ホットキー、マウス<sup>※1</sup>、RS-232コマンド<sup>※2</sup>
- ◆ KVM、USB周辺機器およびステレオオーディオの独立切替に対応
- ◆ 対応解像度4K UHD(3840×2160@60Hz)、4K DCI(4096×2160@60Hz)
- ◆ SuperSpeed 5Gbpsデータ転送速度の2ポート USB 3.1 Gen 1ハブを内蔵
- ◆ DisplayPort 1.2準拠<sup>※3</sup>、HDCP準拠
- ◆ DisplayPortチャンネル経由でHDオーディオをサポート<sup>※4</sup>
- ◆ 高品質な2.1チャンネルサラウンドシステムに対応したフルベースレスポンス
- ◆ 電源状態検知機能 - コンピューターの電源がオフになると、CS1942DP / CS1944DPは電源が入っている次のコンピューターに自動切替
- ◆ マルチストリームトランスポート(MST)により、1カ所のDisplayPortコネクタを経由で複数のモニターを使用可能<sup>※5</sup>
- ◆ DisplayPortデュアルモードテクノロジー(DP++)は、パッシブHDMIおよびDVIアダプターをサポート<sup>※6</sup>
- ◆ ホットプラグ対応 - 製品本体の電源を落とすことなく、コンピューターの取り付け/取り外しが可能
- ◆ コンソールマウスポートのエミュレーション/バイパス機能 - 大半のマウスドライバーと多機能マウスをサポート
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7/8以降、Mac、Linux
- ◆ 多言語キーボードマッピング - 日本語、英語、フランス語、ドイツ語対応
- ◆ Macキーボードの使用とエミュレーションに対応<sup>※7</sup>
- ◆ オートスキャンモード機能 - 全コンピューターのモニタリングが可能
- ◆ ファームウェアアップグレード対応

---

**注意:**

1. マウスによるポート切替は、マウスエミュレーションモードでのみ使用可能です。3ボタンUSBホイールマウスのみサポートされます。
  2. RS-232コマンドをRJ-45→DB-9ケーブルで受信するには、KVM本体のプライマリー／セカンダリースイッチを「S」に設定してください。詳細は「CS1942DP/CS1944DP RS-232コマンド」ドキュメントをご参照ください。
  3. DisplayPort 1.4 準拠のディスプレイデバイスの場合、互換性の問題を回避するために、デバイスがDisplayPort 1.2と互換性があるように設定してください。
  4. DisplayPortから出力される音声は、個別切替に対応していません。
  5. MST(マルチストリームトランスポート)を使用するには、DP 1.2対応のデジタイゼーションモニターまたは電源付きMSTハブが必要です。DP 1.1aディスプレイは、デジタイゼーション末端で使用できます。PCはDP 1.2対応のビデオ出力を持つ機種をご利用ください。
  6. DP++(DisplayPortデュアルモード)は、通常シングルディスプレイ構成でアクティブアダプターを必要としません。ただし、ソース機器のDP++対応が不明な場合は、アクティブアダプターの使用を推奨します。
  7. PCキーボードの組み合わせは、Macキーボードをエミュレートします。Macキーボードは、Macシステムでのみ動作します。
-

# システム要件

---

## コンソール

- ◆ 可能な限り最大の解像度に対応したDisplayPortディスプレイ2台
- ◆ USBマウス
- ◆ USBキーボード
- ◆ マイクおよびスピーカー

## コンピューター

各コンピューターで以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DisplayPortポート×2
- ◆ DisplayPortポート×4(クアッドディスプレイ(DCCモード)で使用する場合)
- ◆ USB Type-Aポート×1
- ◆ オーディオポート

## ケーブル

ビデオ品質を保証するために、VESAコンプライアンスプログラムによって認定されたATEN DisplayPort KVMケーブルのみを使用することを推奨します。製品パッケージには4本(CS1942DP)または8本(CS1944DP)のケーブルが付属しています。

---

### 注意:

1. 表示品質はケーブルの品質に左右されます。ソースからモニターまでの合計距離は3m以内(PC~KVM間1.5m、KVM~モニター間1.5m)を推奨します。延長が必要な場合は、販売店にお問い合わせのうえ、ATEN純正ケーブルをご使用ください。
  2. DP 1.1準拠のDisplayPortケーブルを使用する場合は、モニターのDisplayPort設定が自動またはDP 1.1に設定されているか確認してください。
-

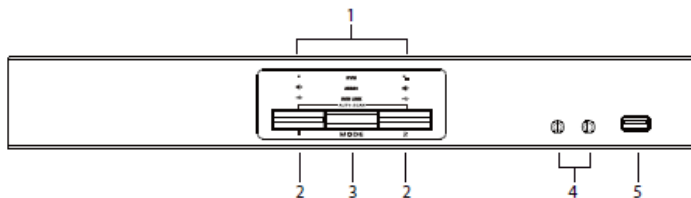
## オペレーティング・システム

オペレーションシステム		バージョン
Windows		2000 / XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 / 10 以上
Linux	RedHat	6.0以降
	SuSE	8.2以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0以降
Novell	Netware	5.0以降
Mac		OS9以降
DOS		6.2以降

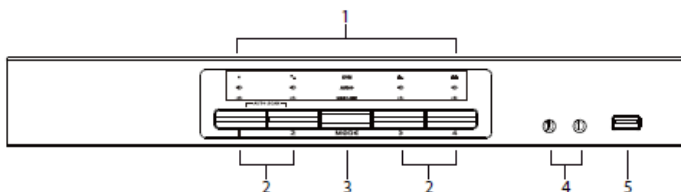


## 製品各部名称

### CS1942DP フロントパネル



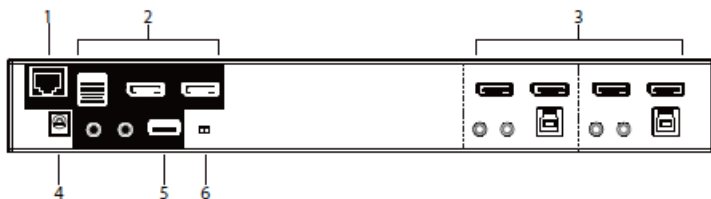
### CS1944DP フロントパネル



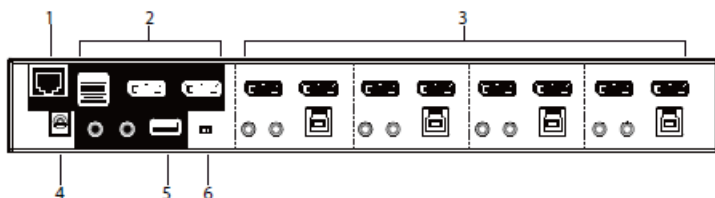
番号	名称	説明
1	LEDステータス パネル	このパネルには、モードやポートの状態を示すLEDがあります。モード選択ボタンとポート選択ボタンには、 <b>KVM、オーディオ、USBの各状態を示す3つのLED</b> が搭載されています。
2	ポート選択 ボタン	<p>ポートを手動で選択するには(p.17「ポート切替」参照)：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ボタンを押して2秒未満で指を離すと、対応するポートに接続されているコンピューターのKVM、USBハブ、オーディオを選択します。</li> <li>◆ ポート選択ボタンを2回押すと、対応するポートに接続されたコンピューターのオーディオを選択します。</li> <li>◆ ポート選択ボタンを2秒以上押すと、対応するポートに接続されたコンピューターのKVMのみを選択します。</li> <li>◆ ボタン1と2を同時に2秒間押すと、オートスキャンモードを開始します(p.25「オートスキャン」参照)。</li> </ul>

番号	名称	説明
3	モード選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆このボタンで、4つの選択モード(すべて、KVM、オーディオ、USB)を切り替えることができます。</li> <li>◆このボタンを長押しした状態で本体の電源をオンにすると、ファームウェアアップグレードモードに入ります。</li> </ul>
4	コンソールオーディオポート	コンソールスピーカーとマイクのプラグを差し込みます。
5	USB 3.1 Gen 1ハブ	USB 3.1 Gen 1ポートにプリンターやスキャナーなどの周辺機器を接続できます。最大5Gbpsの高速データ転送に対応しています。

## CS1942DP リアパネル



## CS1944DP リアパネル



番号	名称	説明
1	DCCポート (デジチェーン コントロール)	このRJ-45ポートは、クアッドディスプレイのDCCモード設定時に、2台のCS194xDPを接続するために使用します。詳しくはp.13「クアッドディスプレイ(DCCモード)」を参照してください。
2	コンソールポート セクション	キーボード、マウス、モニター、マイク、スピーカーのケーブルを接続します。各コネクタには、それぞれを示す適切なアイコンが付いています。
3	KVMポートセクション	製品本体とコンピューターをつなぐケーブルを接続します。各KVMポートセクションは、マイクジャック、スピーカージャック、USB Type-Bポート、および2カ所のDisplayPortコネクタから構成されています。
4	電源ジャック	電源アダプターのケーブル部分を差し込みます。
5	USB 3.1 Gen 1ハブ	USB 3.1 Gen 1ポートにプリンターやスキャナーなどの周辺機器を接続できます。最大5Gbpsの高速データ転送に対応しています。

番号	名称	説明
6	DCCスイッチ	<p>クアドディスプレイのDCCモード設定時に、ホスト/クライアントを切り替えるためのスイッチです。詳細は「クアドディスプレイ(DCCモード)」を参照してください。</p> <p>DCCスイッチを「S」にすると、KVMスイッチがRJ-45→DB-9ケーブル経由でRS-232コマンドを受信できるようになります。詳しくは「CS1942DP/CS1944DP RS-232コマンド」ドキュメントをご参照ください。</p>

## 第2章 ハードウェアのセットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報をp.43に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 電力サージや静電気によるシステムの損傷を防ぐためには、すべての接続機器が適切にアース接続していることが重要です。
3. すべてのデバイスの電源がオフになっているか確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここからも電源ケーブルを抜いてください。
4. 環境温度が高い場合は、注意してデバイス进行操作してください。このような条件下では、デバイスの表面が過熱する可能性があります。例えば、環境温度が50°Cに近づくと、デバイスの表面温度が70°C以上になる場合があります。

### ケーブルの接続

---

お使いのシステムのセットアップを行うには、本セクションにおける接続図(p.12)を参照し(図における番号は手順の番号に対応)、次の手順に従って操作を行ってください。

1. 製品本体のリアパネルにあるUSBコンソールポートに、USBキーボードとUSBマウスを接続します。
2. 本体のリアパネルにあるDisplayPortコンソールポートに、モニターを接続して電源を入れます。
3. フロントパネルのスピーカージャックにスピーカーを接続します。使用するには、CPU側にもオーディオケーブルを接続してください。
4. リアパネルのオーディオポートにマイクとスピーカーを接続します。なお、フロントパネルに接続された機器が優先されます。

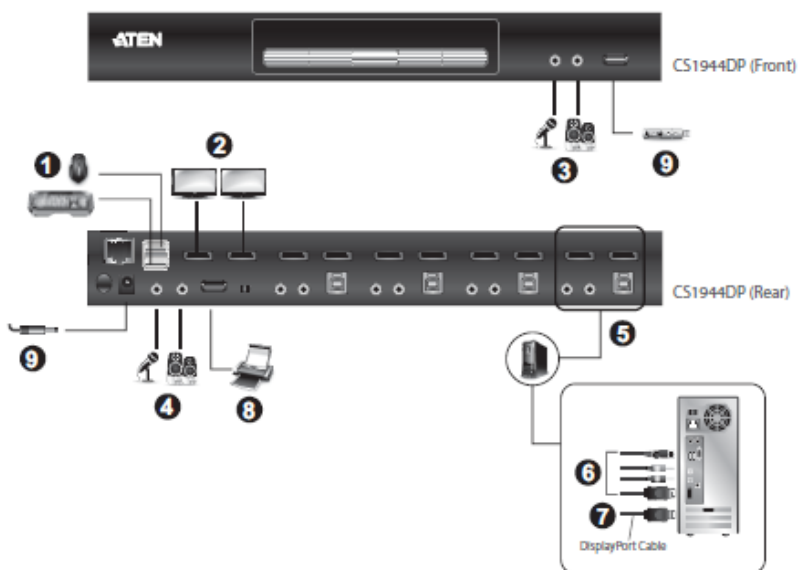
5. DisplayPortケーブルをKVMポートのAポートとBポートに接続し、USB 3.0ケーブルとマイク/スピーカーケーブルもそれぞれ対応するポートに接続してください。
6. 手順4で使用したマイク/スピーカーケーブルのもう一方の端にあるコネクタを、コンピューターの各ポートに接続します。
7. 手順5で接続したケーブルの反対側を、PCのDisplayPortおよびUSB 3.0ポートに接続します。デュアルディスプレイPCが複数ある場合は、手順5～7を各PCで繰り返してください。
8. (オプション)フロントパネルまたはリアパネルにあるUSB周辺機器ポートに、USB周辺機器を接続します。
9. 付属の電源アダプターをAC電源に接続し、ケーブルを本体の電源ジャックに差し込んでください。
10. コンピューターに電源を入れます。

---

**注意:**

- ◆ デフォルトでは、KVMスイッチは電源がオンになっている最初のコンピューターに接続します。
  - ◆ PCからモニター(KVMを含む)までのケーブルの合計長は、3m以内にしてください。
  - ◆ 4K UHD(3840 × 2160@60Hz)または4K DCI(4096 × 2160@60Hz)の解像度を使用する場合は、高品質のケーブルをお使いください。
  - ◆ CS1942DP/CS1944DPの電源は常にオンにしておくことを推奨します。
  - ◆ CS1942DP/CS1944DPに接続しているコンピューターやデバイスも正しくアース接続されているか確認してください。
-

## 接続図



## クアッドディスプレイ(DCCモード)

---

クアッドディスプレイに拡張する場合は、DCCモードで2台の同型番のCS194xDPを接続することで、4画面同時表示が可能になります。設定前にすべての機器の電源をオフにし、p.14の接続図を参考に、手順に従って接続してください(図中の番号は各手順に対応しています)。

1. p.10「ケーブルの接続」の説明に従って、すべてのコンピューターをホスト側に接続します。
2. クライアント側で、2本のDisplayPortケーブルを使用して、DisplayPortコネクタを同じKVMポートセクションのDisplayPortポートAとBに差し込みます。
3. 2本のDisplayPortケーブルのもう一方の端にあるモニターケーブルを、コンピューターの対応するポートに差し込みます。
4. すべてのコンピューターで手順2と3を繰り返します。
5. ホストとクライアントのリアパネルにあるDisplayPortコンソールポートに、コンソールモニターを差し込みます。
6. ホストのDCCポートとクライアントのDCCポートをRJ-45ケーブルで接続します。
7. クライアントのリアパネルで、DCCスイッチを「S」(**セカンダリー**)に設定します\*。
8. ホストのリアパネルで、DCCスイッチを「P」(**プライマリー**)に設定します。
9. システムに電源を入れます。ホストとクライアントに電源ケーブルを差し込んだら、両方に電源を入れます。両方のユニットが起動したら、コンピューターやビデオソースデバイスの電源を入れます。

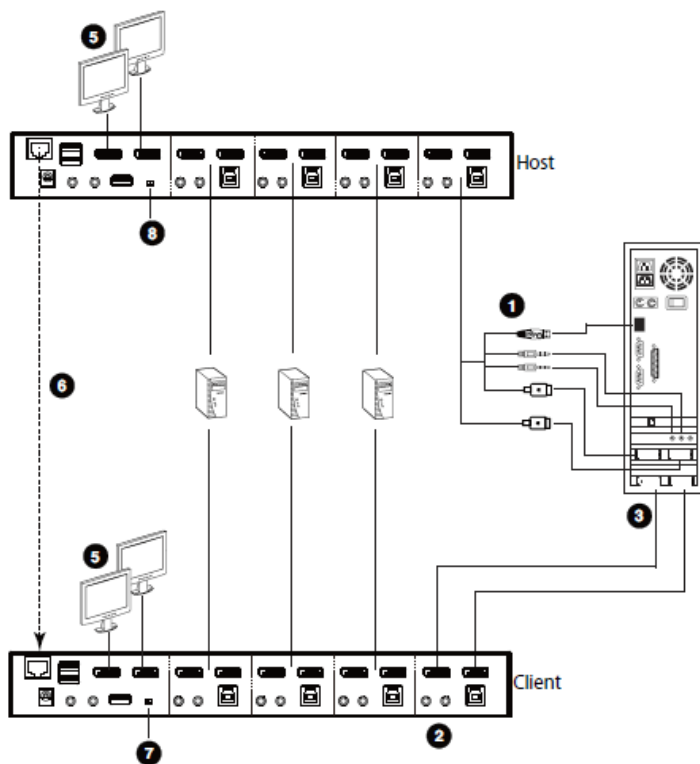
---

### 注意:

- ◆ 「P」はプライマリー、「S」はセカンダリーをそれぞれ表しています。
  - ◆ DCCモードでは、クライアントのフロントパネルのプッシュボタンは無効になり、すべてのコマンドがホストから直接取得されます。
  - ◆ DCCスイッチを「S」の位置に設定すると、そのユニットにおけるフロントパネルのプッシュボタンが、すべて無効になります。
  - ◆ CS1942DP/CS1944DPに接続しているコンピューターやデバイスも正しくアース接続されているか確認してください。
-



## 接続図(クアッドディスプレイの場合)



# 第3章 基本操作

## ポートの切り替え

---

コンピューターを切り替えるには次の4つの方法があります。

- ◆ 手動 - フロントパネルのポート選択ボタンを押す。
- ◆ マウス - マウスのスクロールホイールをクリックする。
- ◆ ホットキー - キーボードの組み合わせを入力する。
- ◆ RS-232コマンド - 正しいコマンドとコントロールを入力する。

## 手動での切り替え

ポートを手動で選択するには:

- ◆ コンピューターのオーディオ・KVM・USBをすべて選択するには、対応するポート選択ボタンを押すか、モード選択ボタンを押してからそのポートを選んでください。選択されると、3つのポートアイコンがすべて点灯します。
- ◆ KVMのみを選択するには、モード選択ボタンを2回押し、対応するポート選択ボタンを押します。選択後は、KVMアイコン(ポート番号)のみが点灯します。
- ◆ オーディオのみを選択するには、モード選択ボタンを3回押し、対応するポート選択ボタンを押します。選択されると、オーディオアイコンが点灯します。
- ◆ USBのみを選択するには、モード選択ボタンを4回押し、対応するポート選択ボタンを押します。選択後は、USBアイコンが点灯します。
- ◆ ポート選択ボタン1と2を2秒以上長押しすると、オートスキャンモードが起動します。

---

**注意:**

1. 任意のポート選択ボタンを押して離すと、オートスキャンが停止し、そのポートのコンピューターのKVMが選択されます。
  2. モード選択ボタンを押してから5秒以内にポートが選択されない場合、このボタンの電源がオフになります。
- 

## **マウスによる切り替え**

マウスでポートを選択する場合は、USBマウスのスクロールホイールを操作します。スクロールホイールをダブルクリックすると、ポートを切り替えます。

---

**注意:**

1. マウスによる切替操作は、3ボタンUSBスクロールホイールマウスでのみサポートされています。
  2. マウスによる切替方法はデフォルトでは無効になっています。この機能を有効にする方法については、p.26「ホットキー設定モード」を参照してください。
  3. マウスによる切り替えは、マウスエミュレーションが有効な場合にのみサポートされます。
- 

## **ホットキーによる切り替え**

ホットキーでポートを切り替えるには、まず[Scroll Lock]キーを2回押します。詳しくはp.19「ホットキーの操作」を参照してください。

## **RS-232コマンド**

RS-232でポートを切り替えるには、正しいコマンドを入力してください。詳細は「CS1942DP/CS1944DP RS-232コマンド」ユーザーマニュアルをご参照ください。

## ホットプラグ

---

CS1942DP/CS1944DPはUSBホットプラグに対応しており、電源を切らずに周辺機器の着脱が可能です。

## 電源オフと再起動

---

CS1942DP/CS1944DP本体の電源を切る必要がある場合は、以下を実行する必要があります。

1. KVMスイッチに接続しているすべてのコンピューターをシャットダウンします。
2. KVMスイッチから電源アダプターのケーブル部分を取り外します。
3. 10秒ほど待機してから、KVMスイッチに電源アダプターのケーブル部分を接続し直します。
4. KVMスイッチの電源を入れたら、コンピューターの電源を入れます。

## ポートIDの付番

---

CS1942DPはポート1～2、CS1944DPはポート1～4がKVMポートに割り当てられています。番号は本体リアパネルに記載されています(詳細はp.8を参照)。

コンピューターのポートIDは、接続しているKVMポートの番号に対応します(例:ポート2に接続=ポートIDは2)。

このIDは、ホットキーでKVM・USB・オーディオを切り替える際の指定に使用されません(詳細はp.21を参照)。

## 手動ポート選択の代替設定

---

ホットキー設定モード中に[S]キーを押すと、フロントパネルのボタンによる手動ポート選択が有効になります。

- ◆ ポート選択ボタンを1回押すと、そのポートのコンピューターのKVMのみが選択されます。
- ◆ ポート選択ボタンを2回押すと、そのポートのコンピューターのオーディオのみが選択されます。
- ◆ ポート選択ボタンを2秒以上押すと、そのポートのKVM・オーディオ・USBがすべて選択されます。
- ◆ ポート選択ボタン1と2を2秒以上長押しすると、オートスキャンモードを開始します。詳細はp.25を参照してください。

## 第4章 ホットキーの操作

CS1942DP/CS1944DPIは、キーボード操作でKVM、USBハブ、オーディオを個別に切り替えられるホットキー機能を備えています。各機能を別々のコンピューターに割り当てることも可能です。

### ポートの切り替え

---

ポート切り替えは、[Scroll Lock]キーを2回押すことで開始します。以下の表に、対応するキー操作とその機能を示します。

---

**注意:**

[Scroll Lock]キーが他のソフトと競合する場合は、代わりに[Ctrl]キーを使用できます。詳細については、p.26「ポート切り替えの代替キー」を参照してください。

---

## ポートの循環切替

ホットキー	アクション
[Scroll Lock][Scroll Lock] [Enter]	<p><b>KVM、USBハブ、オーディオ</b>の選択を、現在のポートから次のポートへ順番に切り替えます (CS1942DP: 1→2→1…、CS1944DP: 1→2→3→4→1…)。</p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li> <li>2. <b>[Enter]</b>を押します。</li> </ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock] [K][Enter]	<p><b>KVM</b>のみ、現在のポートから次のポートに移動します。USBとオーディオの選択状況は変わりません。</p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li> <li>2. <b>[K]</b>を押します。</li> <li>3. <b>[Enter]</b>を押します。</li> </ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock] [U][Enter]	<p><b>USBハブ</b>のみ、現在のポートから次のポートに移動します。KVMとオーディオの選択状況は変わりません。</p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li> <li>2. <b>[U]</b>を押します。</li> <li>3. <b>[Enter]</b>を押します。</li> </ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock] [S][Enter]	<p><b>オーディオ</b>のみ、現在のポートから次のポートに移動します。KVMとUSBハブの選択状況は変わりません。</p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li> <li>2. <b>[S]</b>を押します。</li> <li>3. <b>[Enter]</b>を押します。</li> </ol>

## ポートのダイレクト切替

ホットキー	アクション
[Scroll Lock][Scroll Lock] [n][Enter]	<p><b>KVM、USBハブ、オーディオを、指定したポートに切り替えます。</b></p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li><li>2. <b>[2]</b>を押します。</li><li>3. <b>[Enter]</b>を押します。</li></ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock] [n][K][Enter]	<p><b>KVMコントロールのみ、指定したポートに切り替えます。USBハブとオーディオの選択状況は変わりません。</b></p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li><li>2. <b>[2]</b>を押します。</li><li>3. <b>[K]</b>を押します。</li><li>4. <b>[Enter]</b>を押します。</li></ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock] [n][U][Enter]	<p><b>USBハブのみを、指定したポートに切り替えます。KVMとオーディオの選択状況は変わりません。</b></p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>[Scroll Lock]</b>キーを2回押します。</li><li>2. <b>[2]</b>を押します。</li><li>3. <b>[U]</b>を押します。</li><li>4. <b>[Enter]</b>を押します。</li></ol>



ホットキー	アクション
[Scroll Lock][Scroll Lock][n] [S][Enter]	<p>オーディオのみを、指定したポートに切り替えます。KVMおよびUSBハブの選択状況は変わりません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Scroll Lock]キーを2回押します。</li> <li>2. [2]を押します。</li> <li>3. [S]を押します。</li> <li>4. [Enter]を押します。</li> </ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock][n] [K][U][Enter]	<p>KVMとUSBハブを、指定したポートに切り替えます。オーディオの選択状況は変わりません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Scroll Lock]キーを2回押します。</li> <li>2. [2]を押します。</li> <li>3. [K]を押してから、[U]を押します。</li> <li>4. [Enter]を押します。</li> </ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock][n] [K][S][Enter]	<p>KVMコントロールとオーディオを、指定したポートに切り替えます。USBハブの選択状況は変わりません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Scroll Lock]キーを2回押します。</li> <li>2. [2]を押します。</li> <li>3. [K]を押してから、[S]を押します。</li> <li>4. [Enter]を押します。</li> </ol>
[Scroll Lock][Scroll Lock][n] [U][S][Enter]	<p>USBハブとオーディオを、指定したポートに切り替えます。KVMの選択状況は変わりません。</p> <p>例:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Scroll Lock]キーを2回押します。</li> <li>2. [2]を押します。</li> <li>3. [U]を押してから、[S]を押します。</li> <li>4. [Enter]を押します。</li> </ol>

ホットキー	アクション
[Scroll Lock][Scroll Lock][n] [K][S][U][Enter]	<p>KVM、USBハブ、およびオーディオを、指定したポートに切り替えます。</p> <p><b>例:</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [Scroll Lock]キーを2回押します。</li> <li>2. [2]を押します。</li> <li>3. [K]、[S]を押してから、[U]を押します。</li> <li>4. [Enter]を押します。</li> </ol> <p><b>注意:</b></p> <p>[Scroll Lock][Scroll Lock][n][Enter]と同じアクションです。</p>

**注意:**

[n] はポートIDを示します (CS1942DP: 1~2、CS1944DP: 1~4)。ホットキーを入力する際は、[n]を該当するポート番号に置き換えてください。詳細についてはp.17「ポートIDの付番」を参照してください。

## オートスキャン

CS1942DP/CS1944DPのオートスキャン機能は、KVMポートを一定間隔で自動切り替えし、各コンピューターの動作を順に監視できる機能です。詳しくは、以下の表をご参照ください。

ホットキー	アクション
[Scroll Lock][Scroll Lock][A][Enter]	オートスキャンを呼び出します。KVMの選択は、5秒間隔でポートからポートへと順番に切り替わります。デフォルトでは、 <b>5秒間隔</b> に設定されています。
[Scroll Lock][Scroll Lock][A][n][Enter]	KVMの選択は、 <b>n</b> 秒間隔でポートからポートへと順番に切り替わります。

### 注意:

1. [n]は、次のポートに切り替わるまでの滞在時間(秒)を示します。ホットキー入力時は、[n]を1～99の数値に置き換えてください。
2. オートスキャン中は、通常のキーボードやマウス操作が無効になります。使用できるのは、オートスキャン用のキー操作とマウスクリックのみです。通常操作に戻すには、オートスキャンを終了してください。
3. オートスキャン中はビデオのみポートを切り替え、オーディオとUSBは開始時に選択されていたポートに固定されます。
4. オートスキャンモードを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

## ホットキー設定モード

---

ホットキー設定モードは、CS1942DP/CS1944DPの本体設定に使用します。すべての操作は、ホットキー設定モード(HSM)の起動から始まります。

### HSMの起動

HSMを起動するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押したら、キーから指を離します。
3. [Num Lock]キーから指を離します。

---

#### **注意:**

HSMの起動には代替キーの組み合わせがあります。詳細は下記を参照してください。

---

HSMが有効になると、Caps LockとScroll LockのLEDが連続点滅します。HSMを終了すると、点滅が止まり、通常状態に戻ります。

通常のキーボードとマウス操作は無効になり、ホットキー操作とマウスクリックのみ使用可能です(詳細は後述)。

ホットキー操作が完了すると、通常は自動でホットキーモードが終了します。一部の操作では、[Esc]キーまたはスペースキーを押して手動で終了してください。

## HSM起動の代替キー

HSM呼び出しキーが他のプログラムと競合する場合に備え、代替キー設定が用意されています。

代替のHSM呼び出し設定に切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. [H]を押したら、キーから指を離します。

HSM呼び出しキーは、([Num Lock] + [-]ではなく)[Ctrl] + [F12]になります。

---

### **注意:**

この手順は、2つの方法を交互に切り替えます。元のHSM呼び出しキーに戻すには、HSMを呼び出し、[H]キーをもう一度押して、指を離します。

---

## ポート切り替えの代替キー

ポート切り替えは、[Ctrl]キーを2回押す方法に変更できます。代替ホットキーを使うには、以下の手順に従ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. [T]を押したら、キーから指を離します。

---

### **注意:**

この手順は、2つの方法を交互に切り替えます。元の[Scroll Lock][Scroll Lock]の方法に戻すには、HSMを呼び出し、[T]キーをもう一度押して、キーから指を離します。

---

## キーボード操作プラットフォーム

CS1942DP/CS1944DPのポートは、初期設定でPC互換キーボード用に構成されています。MacやSunを接続している場合は、設定を変更することでPCキーボードからそれぞれをエミュレート可能です。設定手順は以下をご参照ください。

1. 設定対象のポートに移動します。
2. HSMを起動します (p.25参照)。
3. 適切なファンクションキー(下表参照)を押したら、キーから指を離します。この手順が完了すると、HSMは自動的に終了します。

ファンクションキー	操作方法
[F1]	SPCモードを設定し、特殊なオペレーティング・システムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします(詳細はp.34を参照)。
[F3]	Sunキーボードエミュレーションを有効にします(詳細はp.35を参照)。
[F10]	Windowsキーボードエミュレーションを有効にします。

## 本体設定の一覧表示

製品本体における設定を一覧表示するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. テキストエディターまたはワープロソフトを開き、ページウィンドウにカーソルを置きます。
2. HSMを起動します (p.25参照)。
3. **[F4]**を押したら、キーから指を離します。そうすると、設定が表示されます。

## USBのリセット

USBの一時的な通信異常が発生しリセットする必要がある場合は、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します(p.25参照)。
2. [F5]を押したら、キーから指を離します。

## ビープ音の制御

ビープ音は設定変更でオンまたはオフにできます。設定を切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します(p.25参照)。
2. [B]を押したら、キーから指を離します。

この操作でビープ音のオン/オフが切り替わります。

## ホットキーによるポート切り替え

ホットキーによるポート切り替えを有効または無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します(p.25参照)。
2. [X][Enter]を押します。

---

### **注意:**

この手順はトグルです。この機能を有効にするには、手順1と2を繰り返してください。

---

## ファームウェアアップグレードモード

製品本体をファームウェアアップグレードモードに設定するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. 「upgrade」と入力します。
3. **[Enter]**を押します。

そうすると、フロントパネルのLEDが点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを示します。

---

### **注意:**

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、KVMスイッチの電源をオフにする必要があります。

---

## デフォルト設定の復元

CS1942DP/CS1944DPをデフォルトのホットキー設定にリセットするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. **[R][Enter]**を押します。

この操作で、すべてのホットキー設定が出荷時のデフォルト設定に戻ります。

## キーボードエミュレーションの制御

キーボードエミュレーションの有効と無効を切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. **[N]**を押します。



## マウスエミュレーションの制御

マウスエミュレーションの有効と無効を切り替えるには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. [M]を押します。

## マウスによるポート切り替え

マウスホイールを2回クリックすることでポートを切り替えることができます。この機能を使用するには、マウスエミュレーションを有効にする必要があります。この機能を有効または無効にするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. [W]を押します。

## モニターの再検出

ポート切り替え時にモニターが反応せず映らない場合は、このホットキーでポート切り替え時にEDIDを再検出し、画面表示を試みるようにします。初期設定では無効ですが、有効にするには以下の手順に従ってください。

1. HSMを起動します (p.25参照)。
2. [Q][n][Enter]を押します。

[n]はポート番号を表す1桁の数字です (CS1942DPの場合はn=1~2、CS1944DPの場合はn=1~4)。

この手順はトグルです。この操作を繰り返すと、元の設定に戻します。

## 切替モードの選択

このホットキーを使用すると、適切な切替モードを、通常切替モードと簡易切替モードの間で選択できます。

---

### 注意:

1. このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.104以降を使用しているCS1942DP/CS1944DPでのみ利用可能です。
  2. 高速切替モードが有効になっている場合、対応するポートに接続されたコンピュータでオーディオを選択する機能(ポート選択ボタンを2回押すことで起動)は無効になります。手動ポート選択の代替設定については、p.18を参照してください。
- 

切替モードを変更するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. HSMを起動します(p.25参照)。
2. **[P][n][Enter]**を押して、キーから指を離します。**[n]**は適切なファンクションキーを表します(下表参照)。この手順が完了すると、HSMは自動的に終了します。

ファンクションキー	操作方法
[1]	KVMを通常切替モードに設定します(デフォルト)。
[2]	KVMを高速切替モードに設定します。

---

### 注意:

一部のディスプレイでは、高速切替モードの設定に失敗する場合があります。ビデオ出力が正常に表示されない場合や、正常に機能しない場合は、デフォルトの通常切替モードを使用してください。

---

## HSM一覧表

HSMの起動後(p.25参照)、次のいずれかのキーを入力して、対応する機能を実行してください。

キー	機能
[F1]	キーボードとマウスをSPCモードに設定し、特殊なオペレーティング・システムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。
[F3]	Sunキーボードエミュレーションを有効にします。
[F4]	製品本体における現在の設定を、テキストエディターまたはワープロソフトで出力します。
[F5]	USBキーボードとマウスのリセットを実行します。
[F6] [n][n] [Enter]	キーボードの言語レイアウトを設定します。[n][n]は、キーボード言語コードを表す2桁の数字です(US英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15)。
[F10]	Windowsキーボードエミュレーションを有効にします。
[B]	ピープ音のオンとオフを切り替えます。
[E]	電源状態検出機能のオンとオフを切り替えます。
[H]	HSM呼び出しキーをデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[M]	マウスエミュレーションを有効または無効に切り替えます。
[N]	キーボードエミュレーションを有効または無効に切り替えます。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルトの状態にリセットします。
[T]	ポート切替キーの設定を、デフォルト([Scroll Lock][Scroll Lock])と代替([Ctrl][Ctrl])で交互に切り替えます。
[u] [p] [g] [r] [a] [d][e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを呼び出します。









キー	機能
[W]	マウスによるポート切替機能を有効または無効に切り替えます。有効になっている場合、マウスホイールを2回クリックしてポートを切り替えます。このとき、マウスエミュレーションを有効にする必要があります。
[X] [Enter]	ホットキーによるポート切替機能を有効または無効にします。
[Esc]またはスペースキー	設定モードを終了します。
[Q] [n] [Enter]	特定のポート[n]におけるモニター再検出を有効/無効にします。
[S]	手動ポート選択のプッシュボタン設定を、デフォルトと代替で交互に切り替えます。

# 第5章 キーボードエミュレーション

## Macキーボード

---

PC互換(101/104キー)キーボードは、Macキーボードの機能をエミュレートできます。エミュレーションマッピングは下表のとおりです。

PCキーボード	Macキーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

---











### 注意:

キーの組み合わせを使用する場合は、最初のキー(Ctrl)を押して指を離し、次にアクティベーションキーを押して指を離してください。

---

## Sunキーボード

PC互換(101/104キー)キーボードは、[Ctrl]キーを他のキーと組み合わせることで、Sunキーボードの機能をエミュレートできます。対応する機能は下表のとおりです。

PCキーボード	Sunキーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	 
[Ctrl] [2]	 
[Ctrl] [3]	 + 
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

### 注意:

キーの組み合わせを使用する場合は、最初のキー(Ctrl)を押して指を離し、次にアクティベーションキーを押して指を離してください。

# 第6章 ファームウェア アップグレードユーティリティ

「FWUpgrade.exe」は、CS1942DP/CS1944DPのファームウェアを自動でアップグレードするWindows用ユーティリティです。

このユーティリティは、各デバイス専用のファームウェアアップグレードアプリとなります。新しいファームウェアが公開されると、弊社ウェブサイトに掲載されますので、定期的に確認してください。

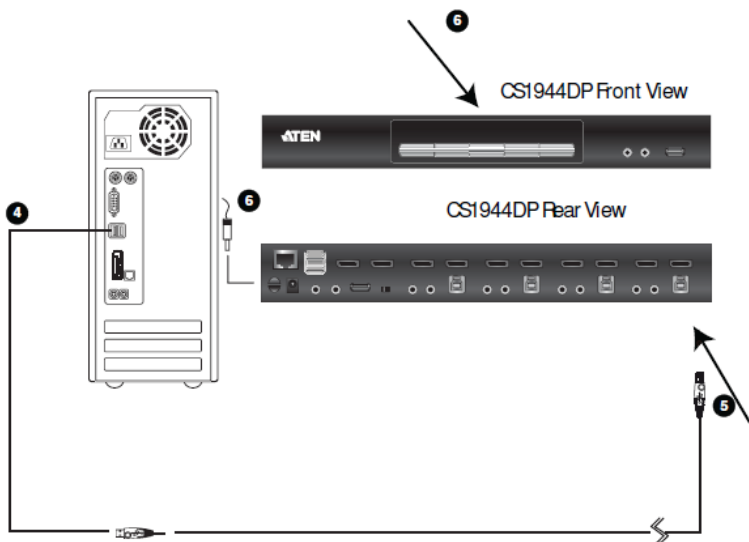
<http://www.aten.com/global/en/support-and-downloads/downloads/>

## 事前準備

---

ファームウェアのアップグレードの準備をするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. CS1942DP/CS1944DPの製品ページにアクセスし、「サポートとダウンロード」メニューで利用可能なファームウェアアップグレードパッケージを確認してください。
2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新版)を選択し、コンピューターにダウンロードします。
3. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージを解凍します。
4. CS1942DP/CS1944DPからケーブルを外して電源を切り、USBケーブルのType-A USBコネクタをコンピューターのUSBポートに接続します。



5. USBケーブルのもう片方の端にあるUSB Type-Bコネクターを、ポート1のKVMセクションにあるUSB Type-Bポートに接続します。

---

**注意:**

USBケーブルのType-Bコネクターは任意のKVMポートに接続できますが、手順5で使用するポート選択ボタンは必ずポート1を使用してください。

---

6. モード選択ボタンを長押ししながら電源を接続すると、ファームウェアアップデートモードに入り、フロントパネルのLEDが全点滅します。



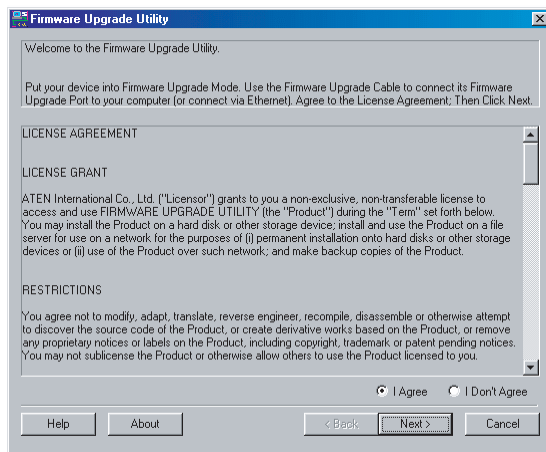
## アップグレードの開始

---

ファームウェアをアップグレードするには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行します。ファイルアイコンをダブルクリックします。

そうすると、ファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されます。



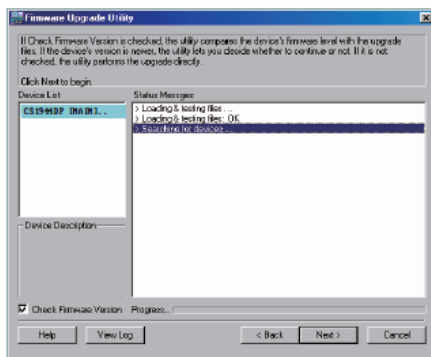
---

### 注意:

このセクションに表示される画面は参考用です。ファームウェアアップグレードユーティリティによって表示される実際の画面の表現とレイアウトは、これらの例と若干異なる場合があります。

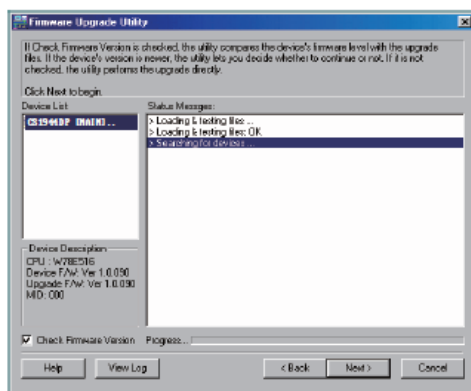
---

2. 使用許諾契約書の内容を確認し、「同意する」ラジオボタンを有効にします。
3. 「次へ」をクリックして先へ進みます。そうすると、ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

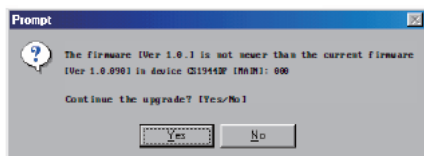


ユーティリティでシステムのチェックを行うと、このパッケージによってアップグレード可能なすべてのデバイスが、「デバイスリスト」パネルに一覧表示されます。

4. リストでデバイスを選択すると、その説明が「デバイスの説明」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択したら、「次へ」をクリックしてアップグレードを実行します。



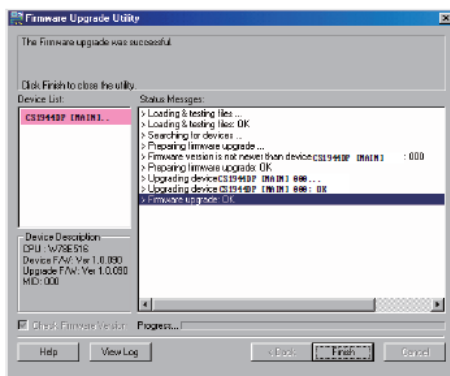
「ファームウェアバージョンを確認する」を有効にすると、ユーティリティがデバイスとアップグレードファイルのバージョンを比較します。デバイスの方が新しい場合は、通知ダイアログが表示され、続行またはキャンセルを選べます。

「ファームウェアバージョンを確認する」を無効にすると、バージョンに関係なくアップグレードファイルがそのままインストールを試みます。

アップグレード中は、ステータスメッセージと進行状況がパネルとプログレスバーに表示されます。

## アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、手順が成功したことを通知する画面が表示されます。



「完了」をクリックすると、ファームウェアアップグレードユーティリティを終了します。

正常に完了すると、KVMスイッチはファームウェアアップグレードモードを終了し、製品本体をリセットします。

DCCモードで使用している場合は、DCCケーブルを再接続し、クライアント側KVMスイッチのDCCスイッチ設定を元に戻してください。(p.13「クアッドディスプレイ(DCCモード)」を参照)。

## アップグレードの失敗

---

「アップグレード成功」画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に完了していません。このような場合には、次の手順でアップグレードを最初からやり直してください。

1. 電源ジャックから電源アダプターを取り外して、CS1942DP/CS1944DPの電源をオフにします。
2. 本体フロントパネルのモード選択ボタン(p.7参照)を押しながらCS1942DP/CS1944DPに電源を入れます。そうすると、ファームウェアアップグレードモードが起動し、オレンジ色のLEDが一斉に点滅します。
3. ファームウェアのアップグレード手順をもう一度実行します。

## 安全にお使いいただくために

---

- ◆ 製品パッケージに同梱のすべてのドキュメントに目を通してください。また、ドキュメント類はすべて保存してください。
- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品本体は、落下による事故・製品の破損を防ぐため、不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブルなど)を避けて設置してください。製品本体が落下すると、深刻な損傷が生じます。
- ◆ 水に濡れるおそれのある場所で製品を使用しないでください。
- ◆ 製品は、熱源の近くや熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定運用や過熱防止のために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品本体をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに本体が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 本体のお手入れの際には、あらかじめプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ ラベルに記載したタイプの電源に製品本体を接続して操作してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 電気回路の過負荷に注意してください。機器を接続する前に電源容量を確認し、上限を超えないようにしてください。回路仕様を定期的に見直し、火災や機器故障の原因となる危険な状態がないか確認を行ってください
- ◆ 設置場所への損傷を防ぐために、すべてのデバイスを適切に接地することが重要です。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。ケーブル類は、人が行き来する場所を避けて設置してください。
- ◆ 映像・ネットワーク・電源用のケーブルは、丁寧に取り扱いってください。ケーブ

- ルの上には何も置かないでください。
- ◆ キャビネットの空きスロットに物を押し込まないでください。危険な電源ポイントへの接触や、部品のショート、また、火災や電氣的な衝撃の危険性があります。
  - ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。すべての保守については、適格な保守担当者に問い合わせてください。
  - ◆ 下記の現象が発生した場合、製品本体をコンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
    - 電源コードが破損した。
    - 装置の上に液体をこぼした。
    - 装置が雨や水に濡れた。
    - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
    - 装置の動作に異変が見られる(修理が必要です)。
    - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
  - ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。他のコントロールを不適切に調整した場合、製品本体に損傷がもたらされ、結果として、修理資格のある技術者による広範な作業が必要になるおそれがあります。
  - ◆ 「UPGRADE」と書かれたRJ-11コネクタを公衆通信網に接続しないようにしてください

## 技術サポート

技術サポートは、電子メールとオンラインの両方で利用できます(ブラウザを使用しウェブ経由で利用可能):

### インターナショナル

- ◆ オンラインでの技術サポート(トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含む)の場合 : <http://support.aten.com>
- ◆ 電話によるサポートについては、p.iiiを参照してください。

### 北米

Eメールサポート		<a href="mailto:support@aten-usa.com">support@aten-usa.com</a>
オンライン 技術サポート	ドキュメント	<a href="http://www.aten-usa.com/support">http://www.aten-usa.com/support</a>
	ソフトウェア更新	
	トラブルシューティング	
電話によるサポート		1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- ◆ 製品型番、シリアル番号、購入日。
- ◆ オペレーティング・システム、リビジョン・レベル、拡張カード、およびソフトウェアを含むコンピューター構成。
- ◆ エラー発生時に表示されるエラーメッセージ。
- ◆ エラーに至るまでの操作の順序。
- ◆ その他に役立つと思われる情報。



# 仕様

機能		CS1942DP	CS1944DP	
コンピューター 接続数	ダイレクト	2	4	
ポート選択		プッシュボタン、ホットキー、RS-232コマンド、マウス*		
コネクタ	コンソール ポート	キーボード	USB Type-Aメス×1	
		マウス	USB Type-Aメス×1	
		ビデオ	DisplayPort メス×2(Black)	
		スピーカー	3.5mmオーディオジャック メス×2 (Green、フロント×1、リア×1)	
		マイク	3.5mmオーディオジャック メス×2 (Pink、フロント×1、リア×1)	
	KVMポート	キーボード/ マウス	USB 3.1 Gen 1 Type-B メス×2(Blue)	USB 3.1 Gen 1 Type-B メス×4(Blue)
		ビデオ	DisplayPort メス×4 (Black)	DisplayPort メス×8 (Black)
		スピーカー	3.5mmオーディオジャック メス×2(Green)	3.5mmオーディオジャック メス×4(Green)
		マイク	3.5mmオーディオジャック メス×2(Pink)	3.5mmオーディオジャック メス×4(Pink)
	DCCポート		RJ-45 メス×1	
	電源		DC電源ジャック×1	
	USBハブ		USB 3.1 Gen 1 Type-A メス×2 (Blue、フロント×1、リア×1)	
	LED	KVM	3(Orange)	5(Orange)
		オーディオ	3(Green)	5(Green)
USBリンク		3(Green)	5(Green)	
スイッチ	選択	プッシュボタン×3	プッシュボタン×5	
	ステーション選択	スライドスイッチ×1	スライドスイッチ×1	
エミュレーション	キーボード/マウス	USB		
ビデオ		最大4096×2160 @ 60Hz、2560×1440 @ 144Hz		

機能		CS1942DP	CS1944DP
スキャンインターバル		1～99 秒(デフォルト:5秒)	
消費電力		DC12V:3.48W:73BTU	DC12V:6.125W:85BTU
動作環境	動作温度	0～50°C	
	保管温度	-20～60°C	
	湿度	0～80%RH、結露なきこと	
ケース	ケース材料	メタル	
	重量	1.54kg	1.51kg
	サイズ(W×D×H)	33.50 × 15.66 × 4.40cm	

\* ポート切り替えは、エミュレーションモードの3キーUSBマウスホイールでのみ機能します。

## トラブルシューティング

### 概要

操作トラブルの原因はさまざまですが、まずは基本的な確認として、すべてのケーブルがケーブルの緩みやホコリの混入なく正しく接続されているか、各コネクタがポートに確実に差し込まれているかをチェックしてください。

問題の原因によっては、ファームウェアのアップデートで解決する場合があります。製品に最新のバージョンが適用されていない場合は、アップグレードを強く推奨します。詳細は第6章「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。

症状	考えられる原因	アクション
マウスまたはキーボードが応答しない。	マウスまたはキーボードのリセットが不適切です。	コンソールポートからケーブルを外し、もう一度差し込んでください。
	CS1942DP / CS1944DPをリセットする必要があります。	システム上のすべてのデバイスの電源をオフにしてください(p.43の安全上の注意を参照)。CS1942DP / CS1944DPの電源をオフにし、5秒待ってから電源をオンにしてください。
USBデバイスが応答しない。	USBポートをリセットする必要があります。	デバイスのUSBケーブルをCS1942DP / CS1944DPのリアパネルのUSBポートから外し、もう一度差し込んでください。
	PCまたはOSがUSB 2.0/3.0に対応していない。	CS1942DP / CS1944DPはUSB 3.0ハブを内蔵しているため、USB 2.0/3.0をサポートしていないPCやOSには対応していません。 USB 2.0をサポートしていないOSでは、[F1]ホットキー機能を使用してキーボードやマウスの機能をリセットできます。p.32を参照してください。

症状	考えられる原因	アクション
デバイスが認識されない(Windows)。	Windowsのタイミングの問題です。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. KVMケーブルをコンピューターのUSBポートから外してください。</li> <li>2. Windowsのシステム設定に進み、「不明なデバイス」のエントリーを削除してください。</li> <li>3. KVMケーブルを差し込み直してください。Windowsがデバイスを認識します。</li> </ol>
フロントパネルのプッシュボタンを押しても応答がない。	CS1942DP/CS1944DPのリアパネルにあるデジタイゼーションスイッチが「クライアント」に設定されています。	<p>製品本体のリアパネルにあるデジタイゼーションスイッチが「ホスト」に設定されているか確認してください。</p> <p>デジタイゼーションスイッチを「クライアント」に設定するのは、クアッドディスプレイの機器構成において2台のユニットを接続する場合のみです。詳細はp.13「クアッドディスプレイ(DCOモード)」を参照してください。</p>
フロントパネルにあるプッシュボタンのコンボキーが設定後に動作しない。	一部のホットキーは、フロントパネルのプッシュボタンのコンボキーとしてサポートされていません。別のホットキーを選択して使用してください。	<p><b>[X] [Enter]、[R] [Enter]、[upgrade] [Enter]</b></p> <p>ホットキーは、フロントパネルのプッシュボタンのコンボキーとして設定できません。別のホットキーを選択して使用してください。</p>

リリース:2024-01-08

© 著作権2024ATEN®International Co., Ltd.

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltd.の登録商標です。無断転載を禁じます。  
その他すべてのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。